

## ▶ 第6章

### 「新冷戦」下の中朝・ロ朝関係

#### ——経済的に中国への依存が続く北朝鮮

富山大学 名誉教授

今村 弘子

#### 【ポイント】

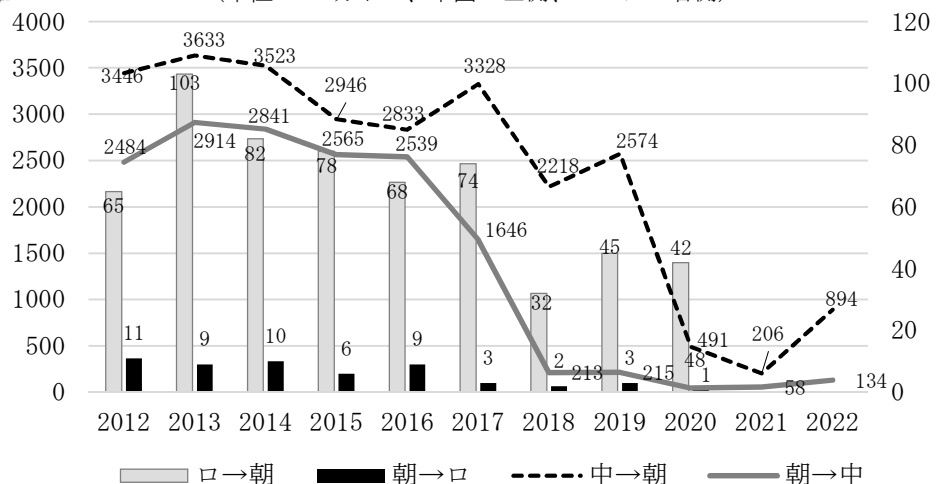
- ▶ 国際社会では民主主義対専制主義の分断が生じたが、過去において中ロ朝の結束は決して強固なものではなかった。しかしロシアのウクライナ侵攻が始まり、北朝鮮がロシア支持という旗幟を鮮明にしたことによって、中国もロシアとともに北朝鮮擁護の立場をとらざるを得なくなってきた。
- ▶ 北朝鮮はロシア支持を打ち出しているが、経済的にはなお中国に圧倒的に依存せざるを得ない状況にある。経済制裁と新型コロナウイルスの影響で中朝貿易は激減していたが、中国がまだゼロ・コロナ政策を続けていた2022年9月に鉄道による貿易を再開せざるを得ない状況だった。
- ▶ 北朝鮮にとってロシアは経済的にはあまり重要な相手国ではない。ロ朝貿易は金額が少ないだけでなく、ロシアの重要な輸出品目で、北朝鮮が必要としている食糧やエネルギーという品目でさえ、少量しか輸出されていない。ただし北朝鮮は国際社会の中では中ロの支持を必要としている。



注目データ

#### 中国とロシアの対北朝鮮貿易

(単位：100万ドル、中国：左側、ロシア：右側)



資料：Global Trade Atlas

注：座標軸に33倍の差があることに注意